

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Non-reassuring foetal status and neonatal irritability in the Japan Environment and Children's Study: A cohort study

和文タイトル: 胎児機能不全と新生児気質との関連性について

ユニットセンター(UC)等名: 福岡UC

サブユニットセンター(SUC)名: 九州大学SUC

発表雑誌名: Scientific Report

年: 2018 月: 卷: 頁:

筆頭著者名: 諸隈誠一

所属UC名: 福岡UC

目的:

胎児機能不全と新生児気質との関連を明らかにすること

方法:

出産時全固定データを用いて、胎児機能不全と生後1か月時の気質に関わる赤ちゃんの抱きにくさ、泣きの状況に関する関連性を解析した。解析は、胎児機能不全全体と、アプガースコア、臍帯動脈血pHの値を用いて定義した、真の胎児機能不全と胎児機能不全偽陽性において検討した。

結果:

胎児機能不全全体は赤ちゃん抱きにくい、赤ちゃん泣き止まないと関連を認めた。しかしながら、真の胎児機能不全と胎児機能不全偽陽性に区分した場合、いずれも有意な関連は認めなかった。初産および経産で区分した場合、経産の場合でのみ、胎児機能不全偽陽性と赤ちゃん泣き止まないに関連を認めた。真の胎児機能不全とは関連を認めなかった。

考察:(研究の限界を含める)

胎児機能不全の情報が、機能不全の有無のみに限定されていること、新生児気質の情報が母親からの質問票のみである点が本研究の限界である。

結論:

胎児機能不全と新生児気質との検討により、胎児機能不全偽陽性で経産の場合においてのみ新生児気質と関連を認め、真の胎児機能不全とは関連を認めなかった。